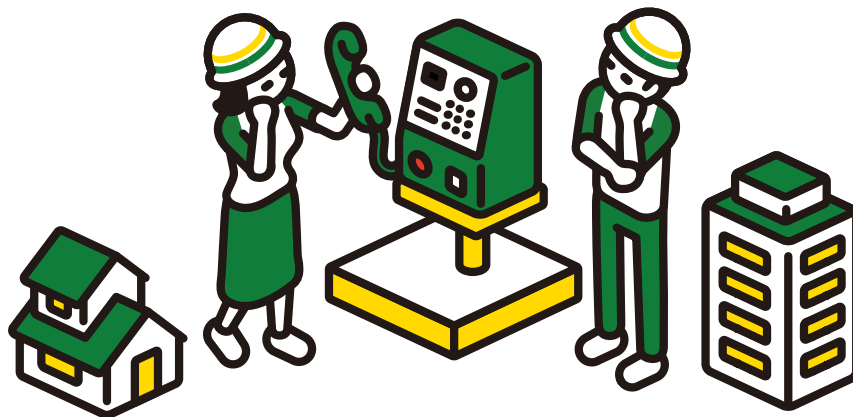




## あの手この手を、きちんと 知っておくことの大切さ

大地震が発生すると携帯電話などの音声通信がつながりにくくなります。各電気通信会社が行う通信規制が一つの原因ですが、これは110や119など緊急の重要通信を優先するために必要な措置です。不要不急な電話やリダイヤルはできるだけ控え、比較的つながりやすいパケット通信を利用した災害用伝言サービスやメール等を活用するようにしましょう。また、一つの連絡方法が使えなかった時に、別の方法を次々とトライできるよう多様な連絡方法を準備しておきましょう。例えば、上記のメールでの連絡方法に加えて、GoogleやFacebook、Twitter、LINEなどの使い方をあらかじめ知っておくことも災害時にはとても有効です。





## 連絡手段



### 公衆電話

公衆電話は、通常の電話よりもつながりやすく、災害時には無料で使用できる。※通話時には10円硬貨が必要（通話後に返却）。



### 携帯電話

通話規制や、基地局の倒壊、停電等で音声通信がつながりにくくなる可能性も。比較的つながりやすいと言われるポケット通信を利用したメールや災害用伝言サービスを活用しましょう。



### PC・スマートフォン

メールや、ツイッター・フェイスブック等のソーシャルメディアが有効。使用するにはネット環境と電源が必要。充電切れに備え、充電器等を常備しておく。

## 災害用伝言サービス



### 災害用伝言ダイヤル「171」

●171をダイヤル

登録可能番号

#### すべての電話番号

固定電話は被災地域の市外局番に限る

保存時間

#### サービス終了時まで

登録件数

**1~20 件**

web171 の伝言も再生可能

録音時間

**30 秒/件**

一度に録音できる時間は30秒と短いため、安否の確認、今いる場所、これからどうするかを簡潔に録音する。原稿をあらかじめ作成しておくことと良い。



### 災害用伝言板

●各社  
公式メニューや  
専用アプリから

登録可能番号

#### 携帯の電話番号

登録時は自動的に登録され入力不要

保存時間

#### サービス終了時まで

登録件数

**10 件**

ソフトバンクは80件

登録文字数

**100 字/件**

あらかじめ登録をしておけば、災害用伝言板登録時に自動的に登録お知らせメールを送ることができる。家族や友人を登録しておこう。



### 災害用伝言板 web171

●「web171」で検索

登録可能番号

#### すべての電話番号

携帯、PHS、IP 電話の番号でも登録可能

保存時間

**最大 6 ヶ月**

登録件数

**20 件**

携帯各社伝言板の伝言も一括検索可能

登録文字数

**100 字/件**

家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」をあらかじめ決めておくこと。

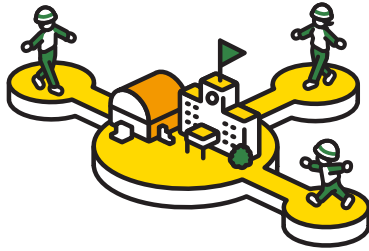


各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日・1月1日~1月3日・防災週間(8月30日~9月5日)・防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)に体験利用することができます。



## 家族で決めておく連絡のルール

### ◎ 離れ離れになったときの連絡方法



#### 集合場所・避難場所

家族が別々の場所で被災したとき、どこで落ち合うか、どこに避難するかを決めておく。



#### 伝言メモの残し方

家族に避難先を伝えるメモを残す場所（玄関の扉の裏側など）を決めておく。



#### 災害用伝言サービス

各種災害用伝言サービスの使い方の確認と登録する電話番号を決めておく。



#### 連絡の中継点となる遠方の親戚・知人

災害時に連絡の取り次ぎをしてくれる遠方の親戚・知人の家を決めておく。

### ◎ 緊急連絡カードの作成

緊急連絡カードを作成して家族や知人と交換し、普段から財布の中に入れるなど携帯しておくようにしましょう。

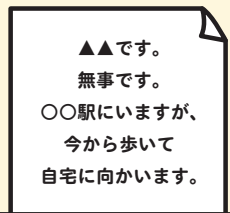


090-XXXX-XXXX



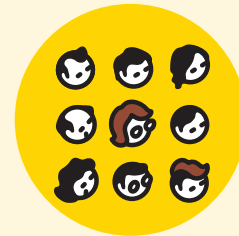
#### 災害用伝言サービスの登録先番号

あらかじめ決めておいた災害用伝言サービスの登録先電話番号を書いておく。



#### 災害用伝言ダイヤルの録音原稿

登録するときに慌てないよう、あらかじめ原稿を用意しておく。



#### 家族・親戚・友人の連絡先

携帯電話がなくても困らないよう家族や友人、連絡の取り次ぎをしてくれる人の連絡先を書いておく。